

読むと春日のまちが♡好き♡になる

かすががっく

春日学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2



Feb.2021



春日学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、春日住民福祉協議会 水嶋 順二 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



◎コロナ禍中のまちづくり活動について

令和2年度、ふれあいひろばを三密対策をとったうえで、文化祭＝作品発表会形式で行いました。市の作品展が中止になったこともきっかけの一つでした。結果的に一人ひとりが主人公として参加することが出来、今の時代にあう形で開催できたと思います。

今や、こうした地域行事は当たり前、生活の一部になっています。行事を中止して、代わりに何か

を各家庭に配るのは避けたいですね。行事の開催目的の一つに「家から出てきてね」がありますから。家から出るとなると身づくろいするし、気持ちもしゃんとする。子どもも礼儀などを知る。そうした場を提供するのが、わたしたちの役目だと思っています。

コロナ禍であっても「できる方法でやる」を大切にしています。防災訓練やもちつきも、従来通りではないにしろ何らかの形でやりたいです。みんな

で色々考えて、どうしても開催できないなら仕方ありません。でも、そうした過程も、決して無駄じゃないはずですよ。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

うちの学区には参加者さんの姿が見えないと必ず「どないしたんや」と言う人がいる、大家族みたいな学区です。

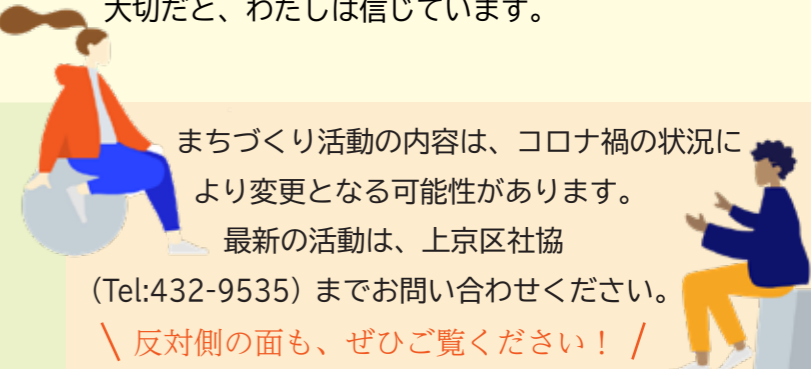
住民自治・防災・福祉は、三位一体として活動してきました。防災を突き詰めると「要配慮

者への福祉」、福祉を突き詰めると「日々の暮らし」になります。しっかり取り組むには、しっかりとした組織が必要です。バランスよい活動ができてきているのは、歴代役員が積み重ねてきた「まちづくりの風土」があるからだと思います。

これからも、出来ることを出来るだけやっていきたいです。止めてしまうのは簡単ですが、次始める時「止めたことをやる必要があるのか」となります。どのような形でもいいので、次につなげていくのが大切だと、わたしは信じています。



春日学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！